文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	小山町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	小山町 文化遺産を活かした巡拝の道づくり 地域活性化事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>富士山が平成25年に世界文化遺産となり、本町では構成資産として富士浅間神社、構成要素として須走口登山道が登録された。小山町総合計画後期基本計画（平成28～31年）において、国、県、周辺市町村及び地域団体と連携して、更なる文化や自然環境の保全に取り組み、この貴重な財産を後世に引き継ぎながら、地域文化を活かした特色あるまちづくりを推進することとしている。併せて富士浅間神社、須走口登山道のある須走地区においては、これらの資産をまちづくりに活用するため、須走地区まちづくり計画が策定された。</p> <p>以下の取組を通じて、須走まちづくり推進協議会を中心に地域全体で、登拝・富士講・御師等の文化遺産を保存・継承し、地域活性化につなげる体制の確立を目指す。</p> <p>1 富士浅間神社を起点とした「巡拝の道づくり」 2 「御師の家」となる須走地区づくり</p>			
6 実施体制			
<p>小山町が本実施計画に係る全体の企画・調整や、補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は次のとおり。</p> <p>教育委員会生涯学習課：文化財等の取扱い等に関する指導・調整 須走支所及び須走地域担当職員：企画・調整、補助事業に係る指導</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>須走まちづくり推進協議会（会長：須走地区区長会長） 構成団体（地元自治会、小山町観光協会、小山町商工会、富士浅間神社宮司、富士浅間神社氏子会長、金融機関、地元企業、地元各種団体、事務局：須走支所）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 22,313 千円	平成30年度申請額： 13,739 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>世界文化遺産である富士山、富士講や御師等の信仰に基づく地域文化を活かした特色のあるまちづくりを推進することにより、地域の文化遺産に対する意識が向上するとともに来訪者の増加により地域の活性化が期待できる。また地域主体の協議会組織により、協働のまちづくりに対する体制が構築されるとともに、「小山町観光振興計画」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において観光交流客数の目標を平成31年度に500万人、モニターツアー参加者（社）数を5者（社）としており、その達成に寄与できるものと考えられる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	富士浅間神社祭事や富士山の開山閉山等の行事に合わせた事業の実施。		
事業概要：	国土交通省による「国道138号景観ワークショップ」において、登山道入口付近や富士浅間神社周辺を通過する国道・県道・町道の景観形成に地域で取り組んでおり、引き続き協働で取り組む。		
事業概要：	東京2020オリンピック・パラリンピック自転車ロードレース開催に向けた事業協力及び情報発信		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	小山町須走地域担当、小山町教育委員会生涯学習課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	住民意識調査の「伝統文化や郷土を大切にしている」の割合 (須走地区)			関連事業:	②・③	
目標値 1 :	【現状値】 平成 29 年度 58 % ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 70 %					
設定根拠 1 :	町内全体で割合が低下している中、総合計画平成 32 年度の目標値である 70 %を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
58 %	%	%	%	%	%	
0%						
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	住民意識調査の「富士山須走口の情報発信が行われている」の割合			関連事業:	①	
目標値 2 :	【現状値】 平成 29 年度 30 % ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 48 %					
設定根拠 2 :	平成28年度に新たに設定した指標であるが、5年後にはおおむね町民の2人に1人が情報発信が行われていると思うと設定。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
30 %	%	%	%	%	%	
0%						

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	巡拝の道情報発信事業					実施団体：	富士浅間神社氏子青年会ほか				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> ・巡拝の道コンテンツ制作 ・巡拝の道ルート上の登拝・巡拝ポイント環境の整備検討 										
評価指標区分：	・コンテンツダウンロード数（掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	映像コンテンツの1映像あたりの年間再生回数										
目標値：	【現状値】平成 29 年度 20 回 ⇒ 【目標値】平成 33 年度 500 回										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
20 回	回	回	回	回	回						
0%											
事業②：	巡拝の道ボランティアガイド育成事業					実施団体：	氏子青年会、観光協会ほか				
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	巡拝の道及び町内全体の文化遺産を紹介するボランティアガイドの育成										
評価指標区分：	・ヘリテージマネージャー育成講座修了者の後年度活動者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	・ボランティアガイド養成講座受講後のガイド登録人数(H29年度を基準に10%ずつ増加)										
目標値：	【現状値】平成 29 年度 17 人 ⇒ 【目標値】平成 33 年度 25 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
17 人	人	人	人	人	人						
0%											
事業③：	富士講と須走御師の普及啓発事業					実施団体：	氏子青年会・旅館組合ほか				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	須走口における富士講、御師の仕組みを再認識し、御師が担っていた「祈り・登拝」「宿泊」「もてなし」の機能を共有し、「須走地区全体が御師の家」となる文化システムの構築を目指す。										
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	「地区全体が御師の家」に関わる団体・個人の数										
目標値：	【現状値】平成 29 年度 10 人(者) ⇒ 【目標値】平成 33 年度 100 人(者)										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
10 人(者)	人(者)	人(者)	人(者)	人(者)	人(者)						
0%											